

令和7年度 第1回 地域連携推進会議議事録

【日時】 令和7年8月6日（水）14：00～15：30

【場所】 あいむほーむ畠町 1階食堂

【出席者】 入居者様 A様
ご家族様 B様
地域関係者 C様
経営に知見のある方 D様
福祉に知見のある方 E様

あいむほーむ畠町 代表取締役 三上 /管理者 古川 /サビ管 金杉
あいむほーむ広尾管理者 大岩

1、開会

2、会議の目的説明

古川より会議の目的と進行スケジュールを説明する。

・目的

- ・施設と地域の連携を深め利用者がより良い生活を送ることを目的とする。
- ・グループホームの役割と共同生活援助事業への理解を深める。
- ・施設の透明性を確保し、質の向上を図る。

3、参加者の紹介

出席者全員が自己紹介を行った。

4、法人概要並びにグループホームあいむほーむについてのご紹介

5、議題

（1）共同生活援助グループホームの役割

①グループホームってどんなところ

- ・家庭的な雰囲気で暮らせる住まい
- ・入居者の暮らしを支える

②グループホームでの生活を通じて期待できること

- ・グループホームは単なる生活支援だけでなく、障害をお持ちの方の生活を支え、人生をより豊かにすることが期待できると考えています。
- ・グループホームの利用対象者

③グループホームの種類

- ・介護サービス包括型
- ・外部サービス利用型
- ・日中サービス支援型
- ・サテライト型

(2) サービスの透明性・質の確保

①財務状況の概要

- ・事業者収入の仕組み
- ・自己負担に関して

②BCP の策定状況

- ・BCP とは
 - ・BCP 策定に関わる委員会
- ③BCP の実施状況
- ・BCP 自然災害編実施状況
 - ・BCP 感染症編実施状況

(3) 施設等と地域との連携

①障害について

- ・障害特性の理解促進
- ・障害の種類

②それぞれの障害の主な特性

- ・身体障害
- ・精神障害
- ・知的障害
- ・発達障害
- ・うつ病とは
- ・統合失調症とは
- ・双極性障害とは

6、意見交換・ディスカッション

古川 グループホームについての印象やイメージのようなものがあればお聞かせください。

B様 子どもから、困ったという話は聞かないです。環境が変わったことにより、静かになりよく眠れている。大満足と聞いている。

C様 きれいでびっくりしました。グループホームというと一軒家で住むという

イメージがありました。ホームページを拝見しましたが、情報公開されていて、しっかりされている印象を受けました。

親が高齢になりグループホームを検討する人は多いと思う。グループホームは増えてきているようだが、支援内容にばらつきがあるようにも見えるので施設選びは難しいのではないかと思う。

古川 グループホーム自体は増えてきました。以前は仕方なく入るという方もいたと思うが、最近は利用者さんが選べるようになってきたと感じます。

E様 自立度の高い人が入れるグループホームとしては、こういうグループホームがあっているんだろうなど感じる。

自己負担のお話がありました。入居されている方が働いている方が多いのでしょうか。

千葉市では、親の高齢化にともなう課題として、親が倒れたり、入院したりした際、子の面倒を見れなくなる。そういう場合の生活の場を安定させるということに取り組んでいる。こちらは空床型の短期入所があるので、連携を取らせていただきたいと思う。

D様 私共は千葉・船橋でグループホームを運営しており、60名ほどの利用者様がいらっしゃいます。

あいむほーむさんはスキルが高く、利用者さんを一番に考えているということが伝わりました。スタッフ研修などもしっかりされていて感動しました。

金杉 Aさん、あいむほーむに入居してよかったですや困った点などあれば、教えていただけますか？

A様 良かった点は、今まで周りの理解がなく生きてきたのですが、ここでは、病気のことなども理解してもらえていて、居心地がいいのが一番良かった点です。困ったところは、個人的なことはありますが、ここに住んで何か困ったということはないですね。駅から少し遠いですが、自分は大丈夫です。

追加でしてほしい支援などないです。

B様 子どもは以前暮らしていた実家でも駅から歩いていましたので、こちらに移ってからも「バスを待つなら歩く」と言って歩いて帰っているようです。本人は静かな環境がいいと言っています。

E様 一人暮らしをすることとグループホームに住むことを比べて、どういうところが助かりますか？

A様 安心して、生活することができます。今ここでやっていることを充実させて、やれることを増やしていきたいです。

D様 グループホームの支援の中で一番いい支援は何ですか？

A様 入院したり、過酷な生き方に寄り添って理解してくれたことが一番です。食事や、お部屋がきれいなところもいい面です。

- D様 病気に理解があるというのはうれしいですよね。
- 三上 もともとは幕張本郷にあるマンションでグループホームを立ち上げたが、消防法の改正等で出ていかなくてはならなくなり、こちらに来ました。あいむほーむ畠町はグループホーム様式で建てることができました。皆さんに安心して心地よく住んでもらえればと思う。「エリーゼ」という建物名で、施設名は出しています。
- D様 障がい者が住んでいるとあえて示さず、普通のアパートに帰ってこれるようにするのも配慮の一つですね。
- E様 地域で生活していくという面で、地域住民と一緒にやっている取り組みは何かありますか？
- 古川 地域柄、お祭りもなく、今のところ地域住民と一緒に何かするというのではありません。
- E様 先入観が強く、いい目で見てもらえないことがあると思うが、地域との交流やつながりによって、障害を理解していただくこともあると思う。
- 大岩 市川では、地域の夏祭りに職員がボランティアで参加したり、障害福祉事業所の横のつながりが強く、連携している事業所と協力して、地域共生センターというところで、お祭りを企画し、昨年参加したりしました。
- E様 地域の方や高齢者の買い物のために車を出したりする活動もある。地域の方と協力できることができれば、震災の時に協力という形もとれると思う。
- C様 平日は皆さんお仕事されているんですか？
- 金杉 一部行っていない方もいらっしゃいますが、平日は仕事の方がが多いです。
- C様 公園をきれいにしたりとか、集団で何かするのは難しいですかね。ビーチのゴミ拾いなんかは、参加するとすごく達成感があるみたいです。
- E様 一番は入居者さんが満足していることですね。

7、施設見学

食堂、洗濯室、非常食保管場所、面談室等館内をご案内する。

居室は空室がなく、入居者さまから見学の許可が得られなかつたため、ご案内無し。

8、閉会

本日お集まりいただきありがとうございました。

いただいたご意見などを参考に今後の運営に活かしていこうと思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。

以上

議事録作成 大岩